

学年	2	週単位時間数	1	年間単位時数	35	授業集団	学年	使用教室	窯業科教室 調理室 被服室
資質・能力	(情)情報を収集する力 (コ)コミュニケーション力 (他)他の人を理解する力 (自)自己を理解する力 (協)協働する力 (地)地域で生活する力								
目標	① 知識及び技能 ② 思考力・判断力・表現力等 ③ 学びに向かう力、人間性等								
① 衣食住に関する基礎的な知識と技能を身に付け、生活の中で生かすことができる。 ② 日常生活における課題に気づき、よりよい生活に向けて考え適切に判断するとともに、自分の考えや工夫をわかりやすく表現することができる。 ③ 家庭生活に関心を持ち、主体的に学習に取り組むとともに、身に付けた知識や技能を生活の中で生かそうとする態度を養う。									

学習計画			
月	学習内容(何を学ぶか) 関連する資質・能力の表示 関連教科は★付けて表示	目標 (何ができるようになるか)	方法 (どのように学ぶか)
4月	「オリエンテーション」(情)	・1年間の学習の見通しを持つ	○各単元の展開 1 実情を振り返り 2 基礎知識・技能の為の調べ学習・実習 3 まとめ ○主体的 ・ICTを活用し、教材提示を行う。 ・具体的な事象(寄宿舎・家庭での洗濯・給食)と結び付け興味を持つ。 ○対話的 ・グループやペア学習を通して、お互いの違いに気づき、自分の生活に結び付ける。 ・実技において、他者の動きを見て伝えあう活動を取り入れる。 ○洗濯表示マークや実演の動画。食品群の色分け。ミシンの使い方、イラストや写真を活用し視覚的支援をする。
5月	「衣生活～衣」(情)(地) ★国語	・洗濯表示の基本的なマークを理解し、それぞれの意味を説明できる。 ・衣類の適切な保管方法(洗い方・干し方・たたみ方・収納場所の選び方)を知り、実際に保管できる技能を身に付ける。	
6月・7月	「食生活」(情)(地)(自)	・食生活に必要な栄養素や栄養バランスについて理解する。 ・栄養素の働きについて理解し、食品の組み合わせを考えながら、バランスの良い食事を選択しようとする程度を養う。	
8月・9月・10月	「家族・家庭生活」(コ)(他) 「衣生活」(情)(地)	・幼児の心身の発達や生活の特徴を理解し、安全に配慮した接し方や言葉かけができる。 ・幼児の目線に立ち、お互いが楽しく交流できる遊びの計画や、おもちゃの工夫・改善ができる。 ・交流を通して自分の成長を振り返り、家族や地域の人々との関りを大切にしようとする実践的な態度を養う。 ・アイロン掛けの際に、洗濯表示や素材を見て適切な温度や方法を判断できる。 ・基本的な縫い方の名前とやり方を理解し、針や糸、紐を正しく扱う技能を身に付ける。	
11月・12月	「食生活」(情)(コ)(協)	・基本的な切り方の技能を身に付け、安全に配慮しながら簡単な調理を行うことができる。	
1月・2月	「衣生活」(協) ★総合学習	・ミシンの基本的な使い方(糸の掛け方・糸の交換・押さえ方)を理解し、実際にミシンを使って簡単な縫物ができる技能を身に付ける。	
3月	・1年間のまとめ(自)	・1年間学んだ事内容を復習し、次年度に繋げる。	

評価の観点	① 知識及び技能	② 思考力・判断力・表現力等	③ 学びに向かう力、人間性等
①衣食住に関する基礎的な知識を理解し、調理や衣生活の基本的な技能を身に付け、場面に応じて活用できる。 ②生活の中の課題に気づき、自分なりに考えて選択・判断し、工夫したことや考えた言葉を表現できる。 ③家庭生活に関心を持ち、主体的に学習や実習に取り組むとともに、学んだことを日常生活に生かすことができる。			